SBI Liquidity Market

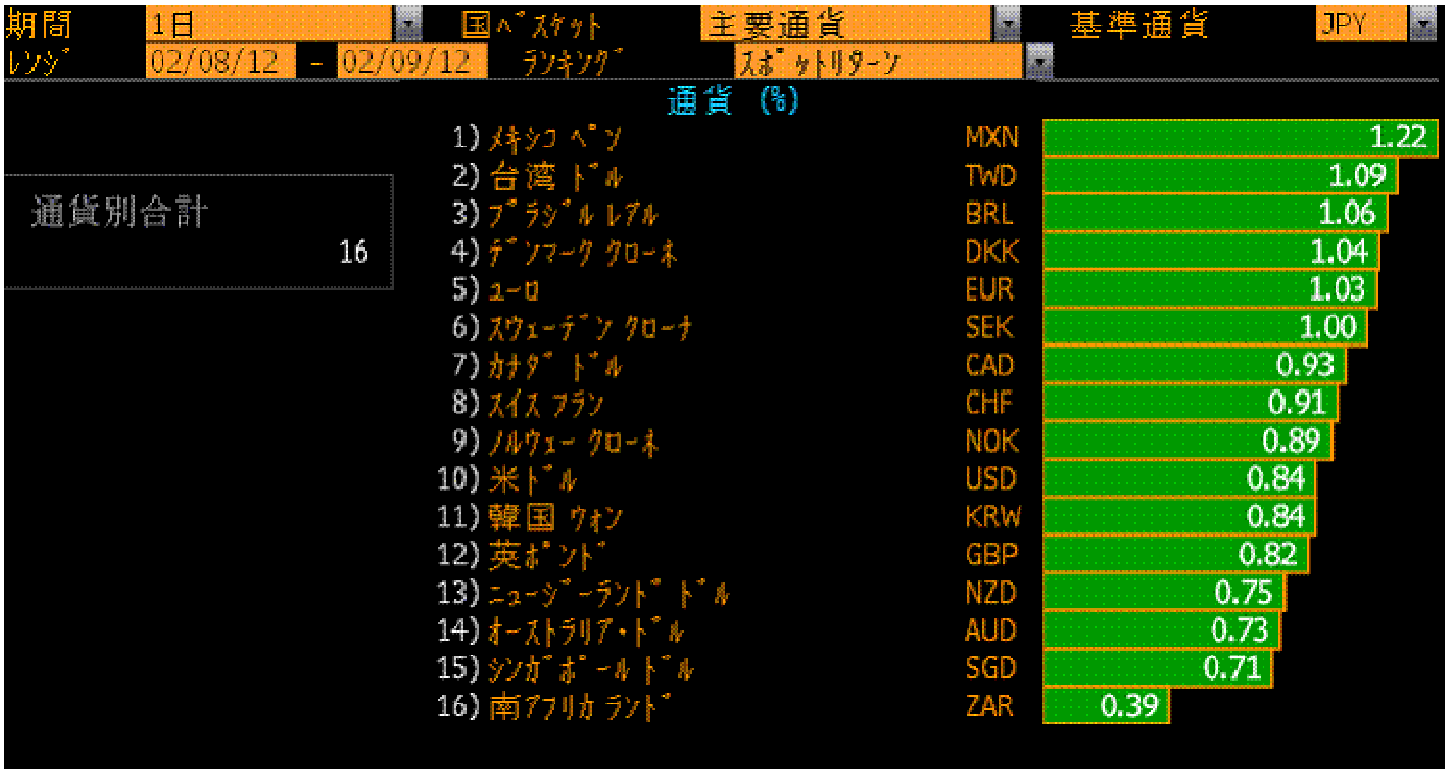
SBI GROUP
当社は東証一部上場、SBIホールディングスのグループ企業です。

マーケットトピックス

2012年2月10日

本日のトピックス
・ドル円　じわじわ上昇

【ドル円　じわじわ上昇】
この日のマーケットでは主要国通貨の中で円が最も売られている。
図1は、円を軸にした主要国通貨の騰落率。
円は全ての通貨に対して下落している。
（図1：対円主要国通貨騰落率）

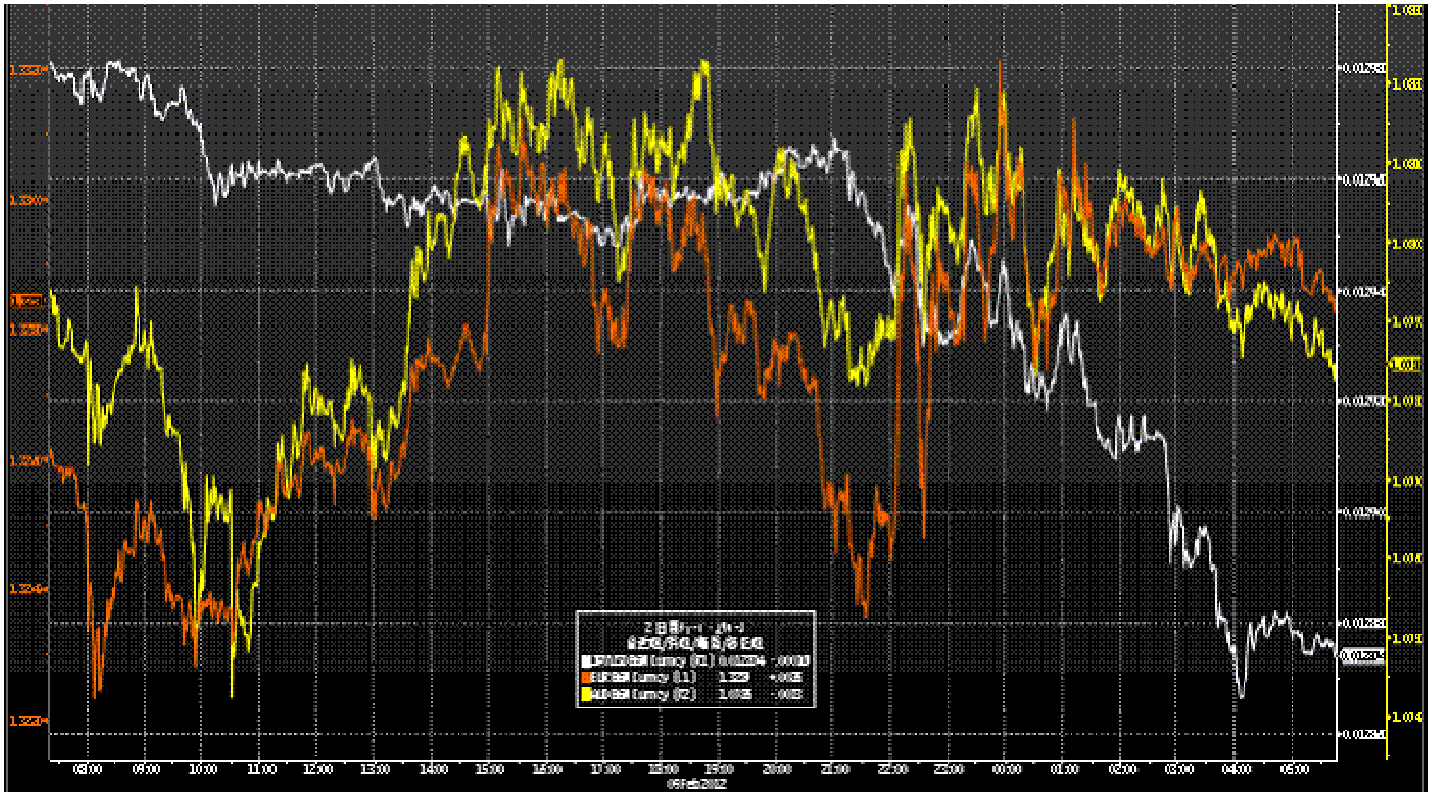


（出所：ブルームバーグ）

図2は、ドル円の1分足チャート。
米国時間に入り一貫して上昇局面入り。
（図2：ドル円　1分足チャート）

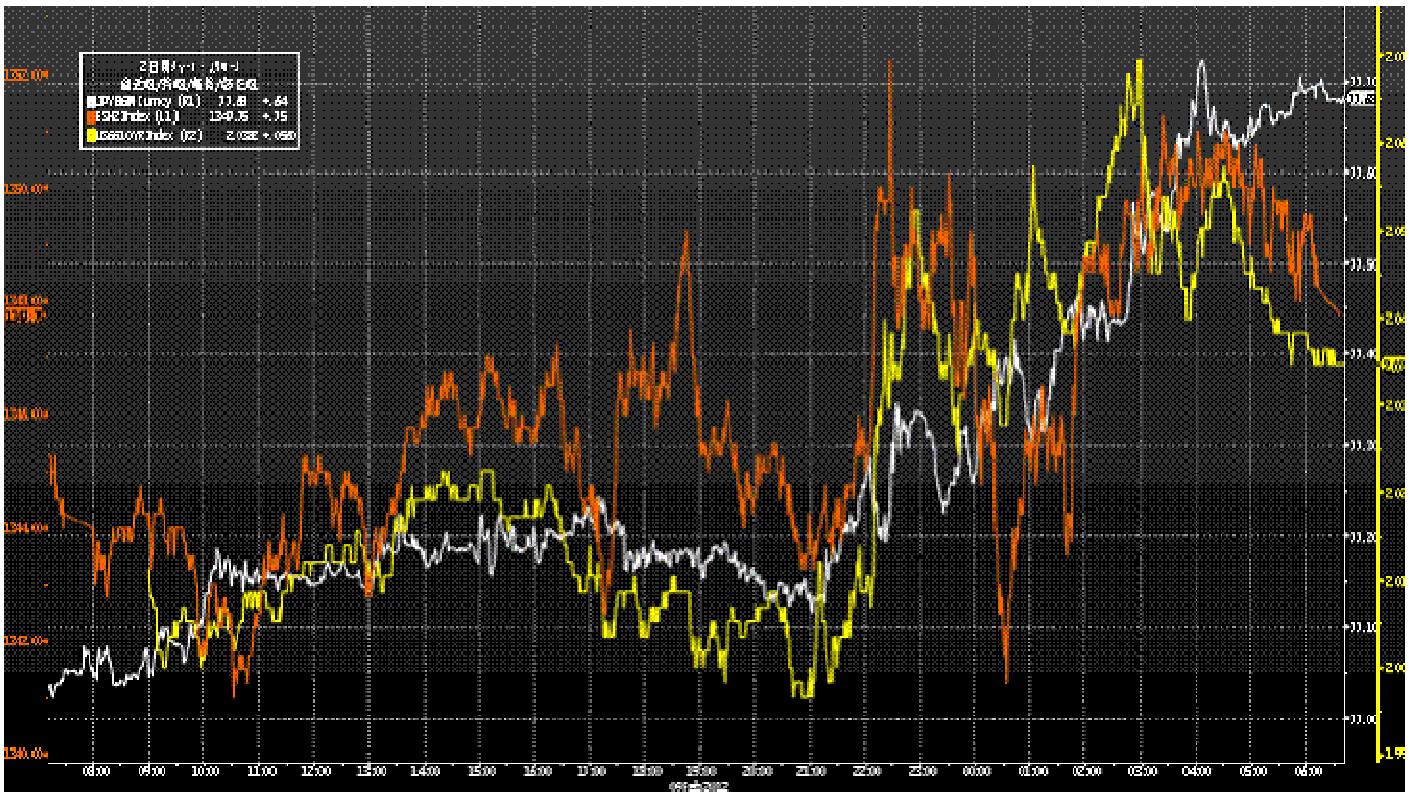
（出所：ブルームバーグ）

図3は、ドルを軸に円、ユーロ、豪ドルをチェックしたチャート。
ユーロと豪ドルはそこそこ歩調を合わせた動きを見せているが、円のみ全く他のマーケットの動向を意に介せず動いている。
（図3：円ドル／白・ユーロドル／オレンジ・豪ドルドル／黄）



（出所：ブルームバーグ）

図4は、ドル円に戻し、株価指数、米国債利回りの動きを重ねてみたチャート。
ドル円の上昇のタイミングは、黄色の米国債利回りの上昇のそれとは近い。
一応はここ最近上昇傾向にある、米国金利に引っ張り上げられているということで、円の最近の動きの説明が出来る。
（図4:ドル円／白・ユーロドル／オレンジ・豪ドルドル／黄）



（出所:ブルームバーグ）

図5は、ドル円の日足チャート。
去年のレンジ下限にタッチした後上昇局面入りしている。
（図5:ドル円　日足）

（出所:ブルームバーグ）

図6は、米国10年債利回りチャート。
上のドル円の動きと比較しても、レンジ内での推移、レンジ下限到達後の反転上昇、という点で共通項が見つかる。

（出所：ブルームバーグ）

最後に図7は、G7通貨の3ヶ月物ボラティリティを示したグラフになるのだが、こちらが低下傾向にあることが確認できる。為替市場の落ち着きから、リスクマネーが積極的に高金利通貨へポジションを移動する根拠として注目される。
（図7：G7通貨3ヶ月ボラティリティ）

（出所：ブルームバーグ）

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社
お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。
本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。